

年度	会長	副会長	事務局長	主な出来事	会員数の推移
1972年(昭和47年)				プロが運営する日本舞踏競技連盟(日競連)主催の競技会に参加するアマチュア選手によりアマチュア選手会が組織される。	
1978年(昭和53年)				アマチュアによるアマチュアのための競技会をスローガンに第1回オールアマチュア10ダンス大会が開催される。これがのちの三笠宮杯となる。	
1980年(昭和55年)				日本舞踏競技連盟(日競連)から独立し日本アマチュア競技連盟(LACD)が設立される。野村直人氏が初代会長に就任する。設立後ただちに日本を代表し国際アマチュアダンス評議会(ICAD)、現在の世界ダンススポーツ連盟(WDSF)に加盟する。	
1981年(昭和56年)				第1回三笠宮杯・日本総合アマチュアダンス競技大会が開催される。	
1997年(平成9年)				日本アマチュア競技連盟(LACD)の神奈川県支部は神奈川県社会人ダンス連盟と共に神奈川県アマチュアダンス協会の設立に参加。1997年3月29日の設立総会に於いて山口剛氏が初代会長に就任する。	
1999年(平成11年)	中西剛	山口剛 森木行徳	藤森始	1999年2月7日の日本ダンススポーツ連盟(JDSF)の設立に伴い日本アマチュア競技ダンス連盟(LACD)はAリーグ部としてJDSF本部内組織となる。また神奈川県アマチュアダンス協会は神奈川県ダンススポーツ連盟へ改組された。これにともない日本アマチュア競技連盟(LACD)の神奈川県支部は神奈川県DSCへ名称を変更。中西剛氏が初代DSC会長に就任する。	1036名
2000年(平成12年)	中西剛	森木行徳 日比野秀彦	宇土弘樹		
2001年(平成13年)	中西剛	森木行徳 日比野秀彦	吉田大治郎		
2002年(平成14年)	仲野巽	森木行徳 日比野秀彦	伊藤定	仲野巽氏がDSC会長に就任(3/31)。JBDFが独自に選手登録を開始。第1回ダンスフェスティバル(4/6横浜女性フォーラム)を開催。	
2003年(平成15年)	森木行徳	仲野巽 吉田大治郎	日比野秀彦	森木行徳氏がDSC会長に就任(2/22)。第2回ダンスフェスティバル(9/27、男女共同参画センター)を開催。仲野巽DSC副会長が神奈川県ダンススポーツ連盟会長に就任。	832名
2004年(平成16年)	森木行徳	仲野巽 吉田大治郎	日比野秀彦	全国統一DSC規程のひな型を基に神奈川県DSC規約を改定(2/28)。第3回ダンスフェスティバル(7/24、男女共同参画センター)を開催。	
2005年(平成17年)	吉田大治郎	森木行徳 田中幸雄	日比野秀彦	吉田大治郎氏がDSC会長に就任(1/29)。第4回ダンスフェスティバル(7/8、男女共同参画センター)を開催。	796名
2006年(平成18年)	吉田大治郎	森木行徳 田中幸雄	日比野秀彦	第5回ダンスフェスティバル(7/8、男女共同参画センター)を開催。	
2007年(平成19年)	吉田大治郎	森木行徳 田中幸雄	日比野秀彦	第6回ダンスフェスティバル(10/27、男女共同参画センター)を開催。	747名
2008年(平成20年)	須田幸彦	吉田大治郎 田中幸雄	日比野秀彦	須田幸彦氏がDSC会長に就任(2/23)。第7回ダンスフェスティバル(8/30、男女共同参画センター)を開催	692名
2009年(平成21年)	須田幸彦	吉田大治郎 田中幸雄	日比野秀彦	第8回ダンスフェスティバル(12/12、オトモン)を開催。	640名
2010年(平成22年)	須田幸彦	吉田大治郎 田中幸雄	日比野秀彦	DSC友の会発足。第9回ダンスフェスティバル(12/11、オトモン)を開催。技術研修会(5/5、サルビアホール)を開催。	664名
2011年(平成23年)	須田幸彦	日比野秀彦 佐々木孝一郎 田中幸雄	助川貞一郎	技術研修会(4/30、サルビアホール)を開催。	612名
2012年(平成24年)	佐々木孝一郎	日比野秀彦	助川貞一郎	佐々木孝一郎氏がDSC会長に就任(2/25)。第10回ダンスフェスティバル(1/7、サルビアホール)を開催。	586名
2013年(平成25年)	佐々木孝一郎	日比野秀彦	助川貞一郎	第11回、第12回ダンスフェスティバル(1/12、8/10、サルビアホール)を開催。	590名
2014年(平成26年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 河合隆広	助川貞一郎	日比野秀彦氏がDSC会長に就任(2/22)。第13回ダンスフェスティバル(6/21、サルビアホール)を開催	586名
2015年(平成27年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 河合隆広	助川貞一郎	森木氏に代わり須田氏が県連副会長に就任(5/18)。第14回ダンスフェスティバル(1/11、サルビアホール)を開催	557名
2016年(平成28年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 河合隆広	助川貞一郎	第15回ダンスフェスティバル(1/9、サルビアホール)を開催。JDSFによるDSC規約のひな型の改定に伴い2016年2月、DSC規約を改定、会員資格を緩和。	528名
2017年(平成29年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 河合隆広	助川貞一郎	第16回ダンスフェスティバル(1/7、サルビアホール)を開催。	526名
2018年(平成30年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 河合隆広	助川貞一郎	第17回、第18回ダンスフェスティバル(1/4、12/22、サルビアホール)を開催。JDSFの構造改革により認定サークルからDSCへの移籍が可能になった。神奈川県DSCは名称変更して「ダンススポーツクラブ神奈川」となった。	505名
2019年(平成31年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 助川貞一郎	大江周平		508名
2020年(令和2年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	大江周平	第19回ダンスフェスティバル(1/4、サルビアホール)を開催するも、その後の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令された事、その後の感染症対策の為に練習会等のイベントは自粛した。	453名
2021年(令和3年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	大江周平	コロナ対策を行ったうえで毎月の開催予定で7月から定期練習会を開始した。	450名
2022年(令和4年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	大江周平	毎月の定期練習会を県内各地で継続開催した。12月には実践的練習会を1月にはダンスフェスティバル(ダンスパーティ&DSC杯競技会)を横浜市技能文化会館で開催した。	459名
2023年(令和5年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	古瀬精一	毎月の定期練習会を県内各地で継続開催した。8月には実践的練習会、12月にDSC杯競技会、1月にダンスフェスティバルを全て横浜市技能文化会館で開催した。	427名
2024年(令和6年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	古瀬精一	定期練習会を県内各地で継続開催した。8月には実践的練習会を三紫スタジオで開催した。1月にDSC杯競技会とダンスフェスティバルを併せてサルビアホールで開催し、同ホールで12月にはDSC杯競技会を開催した。	420名
2025年(令和7年)	日比野秀彦	須田幸彦 佐々木孝一郎 吉川竜	古瀬精一		415名